

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん載っています

作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

時々、霧雨 (悦)

1,2回、霧雨が降る天気でしたが、予定通り、山頂コースを頂上までの観察ができました。

集合場所の四阿で、羽化に失敗し翅に障害を持つアサギマダラに遭遇。昆虫担当スタッフから羽化のメカニズムなどを聴き、蝶が命を全うする難しさなどをみんなで実感しました。飛べないアサギマダラは、命を全うできるよう叢へ移してスタートしました。

今回は、お子さん連れの参加で、平均年齢がグンと下がりました。



この観察会は、お子さん連れ OK、全工程参加でなくても OK です。年間メンバーでなくても一日参加も可能です。

ホオノキの思い出 (清)



大径樹生育調査。順調に成長が確認されたホオノキ。育ちが早く、軽くて柔らかい。心材は灰緑色で、版木の板や下駄としてよく使いました。葉は薬効があり、器代わりに豆腐とネギ味噌を載せ、焼いて食べたり、風車として遊びました。

測定結果:胸高直径78.7cm (2015年 70.8cm)

小雨に負けず... (SU)

今回参加者の最年少のNちゃんは雨具に身を包み、自然観察なら雨も当然、と準備万端でスタートしました。Nちゃんの視点がとても新鮮。



キク科の花やタデ科の花、イネ科の穂、赤や青の色々な木の実が、魔法の手で素敵なブーケの材料に！！一緒に歩いて、楽しかったです。

記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、今今、300円で販売中。

《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館
茅野市北山 カフェ 午後の森

《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会
☎: 0266- 75-1772

お知らせ

●Web「いきものガイド」

ガイドブックに掲載された花の写真を基に、ネット上で市民の森の花を検索できる web「いきものガイド」を開設しました。現在は、花だけですが、今後、昆虫も掲載予定です。

URL: <https://8moribunka.sakura.ne.jp/shimnoriguide/>

●市民の森のいきものたちミニ写真展

場所:ゆいわーく茅野 1F フリースペース
常時、市民の森の今現在観察できるいきものたちの写真を展示しています。

森あそび (衣)

森は多様な実りで潤っていて、さまざまな命の繋ぎ方にとにかくすごいな、と。

ともに参加した娘は、皆さまのおかげでたくさんの素材を持ち帰ることができ、自宅でも引き続き森あそびに励んでいます。ありがとうございます。

娘が森で作ったものと、自宅に帰ってから作った作品を玄関に並べてみました。



10月の昆虫 (悦)

蝶:②109~118

●ミドリジジミ卵



ミドリジジミの卵です。(馬)

径 0.72~0.75 mm。しかし、左側はタマゴヤドリバチの脱出孔が開いています。

蛾:②119~120

●クスサン死骸

●イカリモンガ



その他

●トリカブトフレアブラムシ

10月観察した花 (悦)

✿ ヤクシソウ①109

✿ アケボノソウ①111

✿ ユウガギク①110

✿ リュウノウギク①110



✿ ヒメジョオン②86

✿ ゲンノショウコ①100

✿ ハナタデ②96

✿ ミズヒキ①103

✿ イヌタデ①103

✿ アキノウナギツカミ①104

✿ ツクバトトリカブト①113

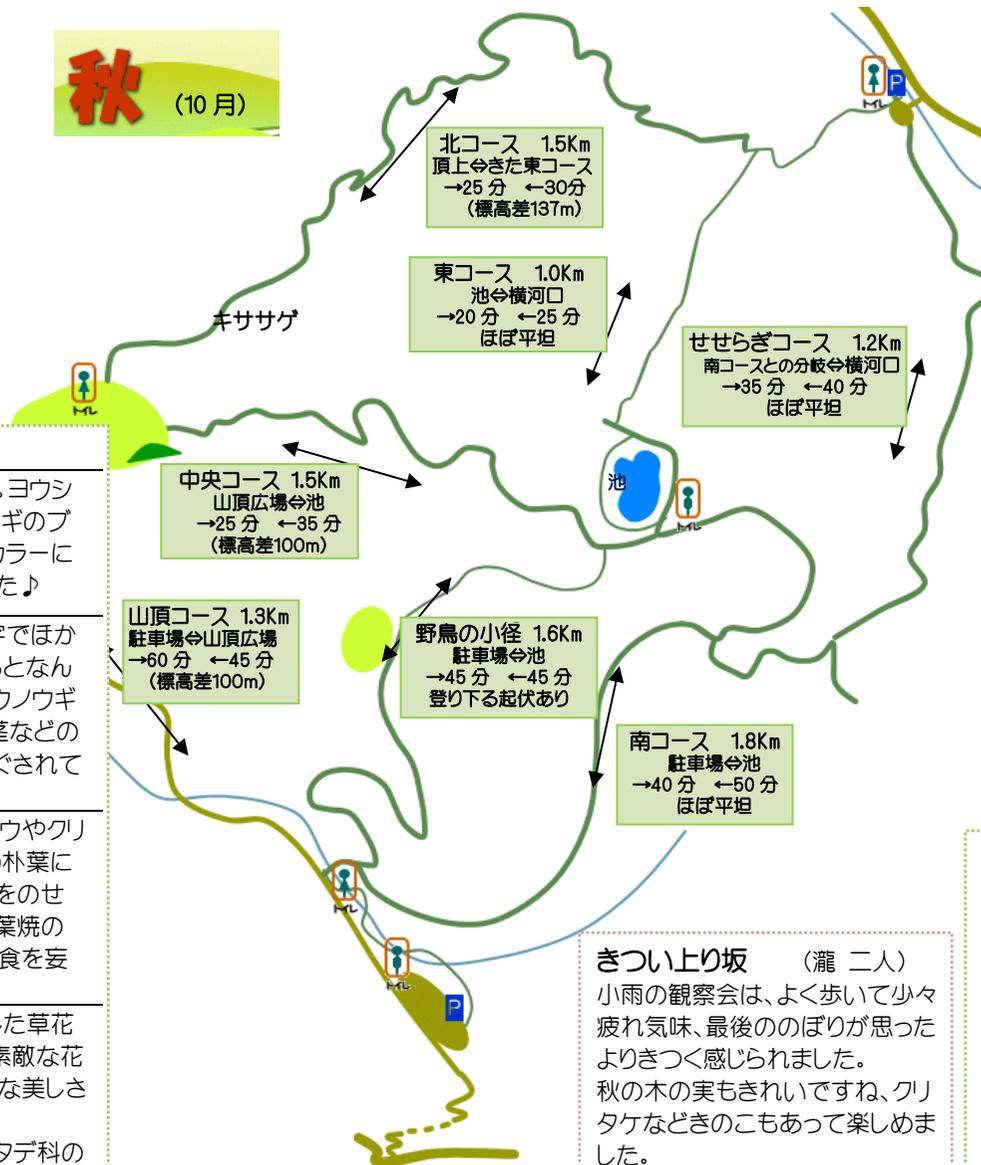
✿ ノコンギク①110

旅立てなかった？アサギマダラ (矢)

今月の観察会で特に心に残った事は、旅立てなかったアサギマダラが我々の手から逃れようと必死にもがく姿。孵化し羽化しても越冬地へ旅立てる個体は何割くらいなのだろう？とか、温暖化が進むと旅する必要もなくなるのか？等、想いは様々。



秋 (10月)



散歩路は秋のフリーマーケット (口)



ヒノキの林の朽ちた切り株にクリタケの栗坊主たちが並んでいます。



イケマの種はバナナのたたき売り、いくつも吊る下げて種飛ばしの機会を待っています。



ホコリタケは蛸壺のごとく群生、誰かに踏まれてモクモクと胞子の発射準備。



センボンヤリは閉鎖花と綿毛を付けたもので、一面に広がっています。ミニチュア版の大名行列です。

お気に留めてどうぞお足をお停めください。

月一観察会 10月レポート (西)



森を歩くと色鮮やかな秋の実。ヨウシュヤマゴボウの真紫、サワフタギのブルー、ミズキの実はパステルカラーに赤い枝付きで珊瑚みたいだった♪



ヒノキは葉の裏にある「Y」の字でほかの木との見分けられ、手にするとなんとも心落ち着くいい香り。リュウノウギクの葉やミズメやクロモジの茎などの心地よい香りに心身が解きほぐされていく。



大人は枯葉上や切株にジゴボウやクリタケを見つけ、大きな葉っぱの朴葉に大興奮！朴葉に味噌を塗り具をのせて七輪の上で焼く美味しい朴葉焼の作り方を教わり、歩きながら夕食を妄想する。



一方、ちいさな娘さんが手にした草花をいつのまにかかわいらしい素敵な花束に♪森と戯れる妖精みたいな美しさに憧れた。



その遊び心にふれ、先輩方はタデ科の「あかまんま」の紅い花の粒をごはんに見立てておままごとをしたと語る。黒いフサフサをつけたチカラシバを指で挟み下からしごとと毛虫に変身！森の楽しみ方は山ほどある。

また一つ森の暮らしに近づけた、ゆたかな一日でした。

きつい上り坂 (瀧 二人)

小雨の観察会は、よく歩いて少々疲れ気味、最後ののぼりが思ったよりきつく感じられました。秋の木の実もきれいですね、クリタケなどきのこもあって楽しめました。

どんぐりの個性 (桂)

去年は不作のどんぐり、今年は沢山落ちていて嬉しくなりました。同じコナラでもこんな個性があるなんて、初めて知りました。



アオハダ



ガマズミ



サワフタギ



ムラサキシキブ

